

<領域：人間と社会>

人間関係とコミュニケーション

問題 25 新人職員のAさん(20歳)は、子どもの頃からの夢だった介護福祉職になり、がんばって働いていた。ただ、介護の技術をもっと学ぶ必要があるといつも感じていた。ある日、利用者Bさんに、「Aさんじゃダメだ、別の人を呼んで」と言われて、ショックを受けた。悩むうちに利用者とかかわりたくないと感じるようになり、眠れなくなってしまった。

次の記述のうち、このような状況にあるAさんが、ストレスを取り除くためにま
ず行うべき対処方法として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 つらさから逃げず、学びが足りないことを自覚する。
- 2 介護の技術がうまくなるために、全力で取り組む。
- 3 眠れるように、毎晩飲酒する。
- 4 上司や同僚などに悩みを話して、助言を受ける。
- 5 介護福祉職には向かないと判断して、転職する。

問題 26 Aさんは有料老人ホームに入所したばかりである。ある日、廊下を行ったり来たりしているAさんに、B介護福祉職が声をかけた。Aさんは、「私の部屋はどこですか」と困った様子で答えた。B介護福祉職が、「ここから2つ隣の部屋です」と伝えると、Aさんは、「どこですか」と不安そうな表情で聞いた。B介護福祉職は非言語的コミュニケーションを用いて伝えることにした。

次の記述のうち、B介護福祉職が用いた非言語的コミュニケーションとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ゆっくり話した。
- 2 大きな声で伝えた。
- 3 Aさんの部屋の番号を紙に書いて渡した。
- 4 Aさんに近づいた。
- 5 Aさんの部屋のドアを指差した。

問題 27 次のうち、介護福祉施設におけるコンプライアンスの意味として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 法令を遵守すること
- 2 給与を引き上げること
- 3 連携を促進すること
- 4 介護技術の向上に努めること
- 5 管理体制を強化すること

問題 28 入社して3か月のA介護福祉職は、初めて夜勤を経験したとき、排泄^{はいせつ}チェック表の記入でミスをしてしまった。起床介助で忙しい時間に記入したために、記載箇所を間違えてしまった。A介護福祉職は自身のミスを受け入れられず、落ち込んでいる。

次の記述のうち、A介護福祉職に対する支持的スーパービジョンとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 同僚と一緒に排泄^{はいせつ}チェック表を確認する。
- 2 施設長から再発防止に向けた対応を指示する。
- 3 上司がA介護福祉職の気持ちの理解に努めつつ、状況を確認する。
- 4 看護師が利用者のその後の状況を確認する。
- 5 業務マニュアルを見直して、上司が必要な修正を行う。